

和光市政を耕す ^{たがや} 市政に新たな種をまき、
芽を育てよりよい街にしよう!

VOL.

17

たけちゃん通信



無所属

平成26年 9月定例会 議会報告

平成26年和光市議会9月定例会（議会）が、8月28日（木）より会期23日間の日程で開会し9月19日（金）に閉会致しました。陳情1件、議案41号から議案61号までの21議案が上程されました。審議内容及び審議結果については、和光市議会ホームページにてご確認ください。私は今回全ての議案に対して賛成致しました。

尚、和光市議会を広く市民の方々に公開し、より開かれた議会を推進するために、開催中の市議会の音声及び画像を記録し、インターネット上で公開しています。録画中継は、原則として本会議の翌日から起算して5日（土日を除き）以降に配信することになっています。

わこうっちが今年もゆるキャラグランプリにエントリー

和光市のイメージキャラクター「わこうっち」が、ゆるキャラグランプリ2014にエントリーしました。昨年は初エントリーで99位と大健闘しました。今年は上位を目指したいと思います。投票は9月2日から10月20日まで行われます。わこうっちがグランプリに輝くように皆さんのあたたかい応援を宜しくお願い致します。（投票は、インターネットから投票できます。ゆるキャラグランプリ2014公式ホームページから投票して下さい。

投票は1人1日1回
出来ます)

和光市
イメージキャラクター
「わこうっち」



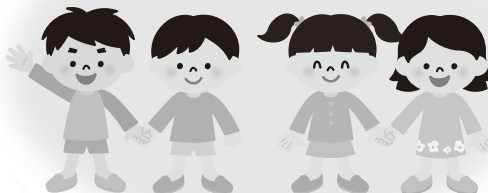
和光市
キャラクター
「さつきちゃん」



<http://www.yurugp.jp>

新設保育園

平成28年4月開園予定の保育園新設用地取得費、1億3883万8千円が、9月定例会（議会）に一般会計補正予算として上程され可決されました。白子保育園の待機児童が多いため、白子3丁目（吹上交差点付近）に用地を取得します。定員は70人で、主に同じく平成28年4月に開校する（仮称）和光市立下新倉小学校の児童が通うことになると思います。



吉田たけしが市政に対する一般質問をした内容(抜粋)

土のう配備について

【質問】 6月25日にゲリラ豪雨による水害が発生し、床上・床下・道路冠水が発生しました。幸い大きな人命被害などはなかったものの、市民の方、職員の方々の多くがその対策や対応に追われたものと思います。個人でできる水害冠水対策としては土のうの活用が一番であると考えますが、まだ当市に於いては、土のうの活用に関する体制が整備されていないため、市民による土のうの活用が十分になされていないと感じております。そこで自助による水害対策の一環として、市内各所に土のうステーションを設置してはどうでしょうか？

【答弁】 土のうステーションの有効性は認識しています。先進市の運用方法や実績を鑑みて検討致します。

☆市長からも前向きに考えるとの答弁がありましたので、早いうちに出来ると思います。

【コメント】 水害・防災に関しては、市民の自助理念の意識向上が不可欠で、水害対策では、まず、雨水ますや排水溝の日頃の清掃が大切で、次に土のうの活用が有効的だと考えます。そのようなことを、水害対策のパンフレットなどを作成し、水害対策の周知を行い、また、雨季や台風シーズンが近づいたときに、広報やホームページのトップページに掲載するなどし、また、防災メールなどで雨水ますや排水溝の清掃、土のうの活用など自助において、対策して頂く周知を行うことも大切だと思います。水害対策など自助理念に対する啓発なども工夫して頂くようお願いし、また、これからの時期は、台風やゲリラ豪雨が予想されますので、早急に検討し設置して頂きますように、お願い致しました。

ごみ集積所について

【質問】 地域における大きな環境問題のひとつにごみ問題があります。市民の方から新しい建て売りが6戸建ったが、その敷地内にごみ集積所がなく、路上をごみ集積所として使用している状況で、狭い道で、スクールゾーンの指定はありませんが、通学路のグリーンベルトの上を集積所として利用しているため、ごみが出されている時には大変危険だと言うことでした。そのようなところが、和光市にはいくつもあることが分かりました。札幌市の例として、新築6戸以上を有する戸建て住宅や共同住宅にはごみ集積所の敷地内設置を要すると決め、これは建築主は、戸建て住宅や共同住宅の建築にかかわる建築確認申請または計画通知を行う前にごみ置き場の設置について清掃事務所との事前協議が必要となるものです。近隣に居住する市民とのトラブル防止のための要綱です。住宅密集地域では、ごみ集積所はますます難しくなると思われます。本市においても建築主が建築確認申請等を出される前に行政と事前協議ができるようなシステムが出来ないか？

【答弁】 今現在、条例の見直しを検討しています。

【コメント】 ごみ集積所の問題に対しては、大きな環境問題のひとつです。早急に条例の見直しを行うことが必要だと思っています。

新設小学校の今現在の進捗状況と今後の計画について

【質問】 今、入札が不調になっているところが多くなっています。(仮称)下新倉小学校は、斬新なデザインで建築も難しいのではと思います。今、大手ゼネコンでは、オリンピック関連事業やアベノミクス効果により、工事予定がいっぱいだそうです。(仮称)下新倉小学校の工事期間は、1年3カ月と、とてもタイトなスケジュールですので、しっかりとした建設会社に行って頂きたいと思います。12月初旬には、入札により建設業者が決定されるとのことですが、不調にならないように、しっかりとした調査・入札条件の設定をして頂きたい。また、そのことをふまえて、今現在の進捗状況と今後の計画について質問致しました。

【答弁】 12月初旬に入札を行い、請負業者との仮契約の締結を行い、12月議会中には本会議に締結するための議案を提出する予定です。

新設校の複合施設について

【質問】 新設校は、複合施設として、児童館・保育クラブ・地域開放スペースなどが併設されます。学校施設の開放範囲や施設所管区分などについて、(仮称)和光市立下新倉小学校及び学校併設施設利用等検討委員会が開催されました。この会議はどのような目的で行われているのか？

【答弁】 学校併設施設利用等検討委員会は、学校開放や併設施設の利用に関する諸問題についての検討を現在進めています。

【コメント】 新設校は、地域のシンボルとして、また、これからの和光市を担っていく、子どもたちの健全育成を、

地域ぐるみでおこなっていくことが、大切だと考えています。また、新設小学校は複合施設ともなりますので、是非地域ぐるみで進めていただきますようお願い致しました。



下新倉児童センターの今後の運営について

【質問】 私はこれまで、下新倉児童センターの必要性について、何回か質問して来ましたが、今現在下新倉児童センターでは、幼児対象事業・地域交流事業・中高生事業・地域交流事業など幼児から高齢者までいろいろな行事がたくさん行われています。今現在行われている事業・活動は、今後どこで行う考えなのか？下新倉児童センター仮施設について質問致しました。

【答弁】 白子保育クラブと白子第二保育クラブ施設内に下新倉児童センターの事務拠点を設けます。

【コメント】 地域の皆さんは、何とか地域内に、児童センターの職員の拠点も、残して頂きたいとの思いがあります、若いママさんたちは、不安な子育ての中、相談する相手もいなく、幼児サークルなどで、職員などに相談相手になって頂いているようです。このようなことから、地域内に事務拠点を置いて頂きたいと思います。今、児童センター近くにある、大島公園の地権者の方が、大島公園隣地を公園として広げて利用してもと言われていました。大島公園を借地する時には、一部小さな貸倉庫があったので、全面を公園として、借地出来なかったようで、その時に、貸倉庫が空いたら、公園拡幅に協力して下さいと、市側からの要望があったようです。そのようなお約束から、今回貸倉庫が空き、更地にしたので、公園拡幅に協力しますとの、有難い申し出がありました。私の考えですが、その土地に一時、コンテナハウスを置き、下新倉児童センターの事務拠点として、事業展開して頂くように強く要望致しました。



高齢者の地域での活用について

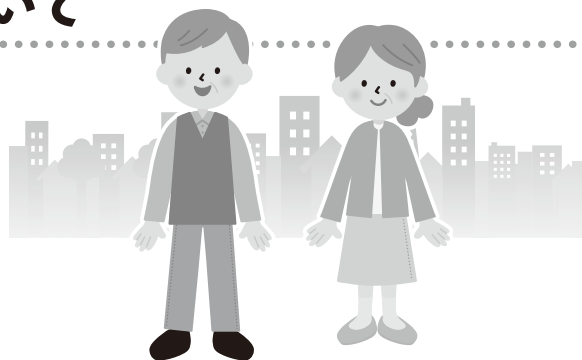
【質問】 日本の65歳以上の高齢者人口は、昨年、3186万人に達し、総人口に占める割合は、25%となり、人口、割合共に、過去最高となりました。これは、昭和22年から24年の、第1次ベビーブーム期に生まれた、いわゆる団塊の世代の内、昭和23年生まれの方が、新たに65歳になったことによるもので、初めて日本人の4人に1人が高齢者となりました。

国立社会保障人口問題研究所の推計によると、平成47年には、3人に1人が高齢者になると見込まれています。今の高齢者は、体力・気力・共に元気な方が多く、高齢者の方が持っている、長年培われてきた、豊富な知識や経験、人脈などを、地域のために活用して頂ければ、様々な地域課題の解決のためにも、大変役立つのではないのでしょうか？その結果、生きがいをもって、元気に暮らす高齢者が増えれば、医療費や介護費の削減にもつながるものと考えます。

高齢者の方々の、豊富な知識や経験、人脈などの活用については、どのように認識しておられるのか？また、今後の高齢者の活用方針についても、質問致しました。

【答弁】 高齢者の方々の、豊富な知識や経験、人脈などの活用については、貴重な地域資源であると認識しています。西大和団地内にオープンした「まちかど健康相談室」では、「キッズウィーク」と題して、高齢者と子供たちの世代間地域交流を行い、高齢者の方の知識や経験を活用した行事を行いました。また、こうした世代間地域交流ができる「場」を多く設けるため、第6期介護保険事業計画で充実を図りたいと考えています。

【コメント】 奈良県生駒市では、今年度から、退職後や、育児や介護の手が離れて、時間的に余裕ができた、65歳以上の高齢者を、シニア世代と呼び、その力を、地域でいかしてもらおうための、支援事業を始めております。6月には、これまで関わりのなかった、地元での活動を始める際の、心構えに関する講演や、自治会やボランティア団体、まちづくり団体などの、活動紹介や個別説明会などの、地域デビューガイダンスが開催されました。地域デビューというのは、それまで地域とのつながりがなかった人が、高いハードルを乗り越えるような気持ちで、地域活動をはじめ、指しています。お母さんなどが、子どもを初めて公園に連れて行く、公園デビューになぞられたものさそうです。高齢者の方が、関心がある分野や団体について知ることができ、活動に参加するきっかけづくりとして、とても有効な取り組みだと感じました。会社ですっと働いてきた人は、地域の活動にも、企業の論理や、現役時代の肩書を、つつい持ち込んでしまう人も多いそうで、そういったものを忘れて、新たな人間関係を作っていくことや、そのための、話し方や物事の進め方も、アドバイスするなど、きめ細かい内容になっているようです。また、シニア世代の人々が、積極的に社会に参加し、豊かな人生を送ることは、高齢者の健康づくりの面だけでなく、地域の活性化や、新たな雇用の創出、消費の拡大など、幅広い効果や、メリットも期待できます。このような、地域デビュー支援事業を実施し、高齢者の力を、地域の中で活用していく支援事業を庁舎内で検討し、行って頂き、また、世代間地域交流が出来る拠点・場を多く設けて頂きますように要望致しました。





高齢者の食生活支援について

【質問】 高齢期は、老化の現象が顕著となってきますが、老化はある日突然起こるのではなく、一般的には、40歳前後から始まり、基礎代謝や、心肺機能、消化機能、運動機能などの低下や、認知症、生活習慣病など、その内容や、進度は、人によって様々です。そういった中、高齢者の方々が、生活の質を維持しつつ、健康的な生活を送るためには、「栄養のあるものを食べること」、「安全な食べ物を食べること」、そして、「美味しいと感じるごはんを食べること」は、とても大事なことですし、行政から見ても、医療や介護を必要とする、高齢者を減らしていくことは、非常に重要なことだと思います。

一人暮らしの老人が増え続ける中で、買い物に出て行くのが面倒になったり、自分で料理をしたりすることが億劫になったりして、1日3回の食事を、きちんと食べることができなくなったり。その他にも、身体機能の低下、食欲不振、経済的要因などから、低栄養に陥っている高齢者は多く、その解消は、大きな課題の一つです。高齢者の、健康寿命を延ばす観点から、高齢者の、筋力をはじめとする、身体機能の低下につながるとされる、低栄養については、どのように認識しておられるのでしょうか？また、高齢者が、みんなで楽しく食事のできる環境を作ったり、食事バランスなどを学ぶ、食育を行うための、高齢者世帯の、食生活の実態調査をし、的確な支援を行うため、和光市として、継続的に、栄養指導など、食生活のアドバイスを行う取り組みを、行ってはと考えますが、いかがでしょうか？

【答弁】 高齢者の低栄養状態は、生活機能低下を伴う老年症候群の代表例とされることから、高齢者の質（QOL）の向上には、健康維持のための適切な栄養管理が必要であると認識しており、介護予防の主眼となります。毎年実施している日常生活圏域二一調査「健康寿命100」においても、質問事項に「栄養・食事・口腔」に関する項目を入れて、低栄養リスクは、地域的にも、個別的にも分析を行っています。今後もこの調査結果を踏まえて、介護予防及び介護給付の栄養マネジメントを推進するとともに、現在行っている食の自立栄養改善等の事業に加え、新たな取り組みも第6期介護保険事業計画に位置づけたいと考えています。

【コメント】 今後も、増加する高齢者世帯の、食生活の実態を把握し、その背景や、地域の実情などを踏まえ、的確な支援を行うことによって、元気な高齢者を増やしていくために、高齢者宅をボランティア等が訪問し、継続的に、栄養指導など、食生活のアドバイスを行う取り組みや、また、高齢者を対象とした料理教室の開催や、地域での、高齢者どうしの食育交流会などを、併せて実施することによって、より効果的な、食育活動が展開できると考えますので、積極的に高齢者の食育にも取り組んで頂きますようお願い致しました。

先の要望とともに、高齢者支援として、まちかど健康相談室を充実して頂き、また、増やして頂きますように要望致しました。第6期介護保険事業計画でより一層の高齢者支援の充実が図られることを期待しています。

質問内容等は、和光市議会ホームページ議会会議録検索システムを利用しご確認ください。

c o m m u n i t y i n f o r m a t i o n



和光市議会議員 吉田たけし

< 4 つ の 柱 >

1. 新倉・下新倉地域へ小・中学校の早期建設を推進します。
2. 保育園の新設や病児保育、延長・夜間保育を推進し、保護者の就労を支援します。
3. 農業・農作物のブランド化を図り、地域の活性化を図ります。
4. 北側発展のため、都市計画道路、区画整理事業の早期完成を目指します。

市政に対するご意見・ご要望、またなにかの時には、なんでもご遠慮なくご相談下さい。皆さんと一緒に考えて行きます。

この会は、吉田たけしさんを中心に明るく、楽しく元気なまちづくりを目的に、会員相互の研修と親睦を行なっています。入会無料です。入会いただける方は右記にご記入の上、この面をFAXでお送りください。どうぞお気軽にご加入ください。



吉田たけし後援会

会長 柳下 茂

〒351-0111 埼玉県和光市下新倉4-15-1

TEL.048-424-3517 FAX.048-462-9369
http://www.takechan-yoshida.jp

お名前

ご住所

ご連絡先電話番号

携帯

メールアドレス